

はじめに

本報告書は、指定管理者制度が博物館に導入された後、その実情についてNPOと企業による運営を現地調査した報告と、法政大学で開催した博物館指定管理館の関係者によるシンポジウム「公立博物館・美術館の指定管理運営館の現状と課題」（2015年9月26日）の記録を収録するものです。

調査やシンポジウムは、文部科学省科学研究費基盤研究B「日本の博物館総合調査研究」（平成25年度～平成27年度）（研究代表者：滋賀県立琵琶湖博物館長 篠原 徹）で行われた調査研究の一部です。その成果は、既に、平成25年度・26年度の研究成果は中間報告書（『日本の博物館総合調査研究』平成25～27年度、日本学術振興会（JSPS）科学研究費補助金研究成果報告書）、平成27年度の成果は報告書（『日本の博物館総合調査研究』平成27年度報告書、平成25～27年度、日本学術振興会（JSPS）科学研究費補助金研究成果報告書）として刊行されました。

本書には、両報告書の中から、本科研チームの金山喜昭が担当した、「博物館指定管理者制度」に関する下記の報告部分とシンポジウム報告を抜粋したものに加えて、シンポジウム報告に掲載することのできなかった討論部分を新たに掲載します。また、民間企業運営館のヒアリング調査には、その後の調査事例を追加しています。

報告書から再掲載する部分は次の通りです。

（中間報告書）

第3部 指定管理者制度

第1章 指定管理者制度によるNPO運営館の現状と課題

第2章 指定管理者制度によるNPO運営館のヒアリング調査報告

（報告書）

第2部 博物館指定管理者制度

指定管理者制度による民間企業運営館のヒアリング調査報告

第7部 研究成果の普及

第1章 シンポジウム報告 博物館指定管理者制度

また、本書は、法政大学資格課程ホームページ (<https://shikaku.i.hosei.ac.jp/>) を通じて公開するので、博物館関係者の共有データとして広くご活用ください。なお、本書に掲載されている所属と肩書は調査・発報当時のものです。

本書に関する調査やシンポジウムなどに関しては、日本学術振興会（JSPS）をはじめ多くの機関や皆様にお世話になりました。また、本書の編集は、山本洋氏にご協力いただきました。心よりお礼を申し上げます。

平成28年10月

法政大学キャリアデザイン学部
教授 金山喜昭